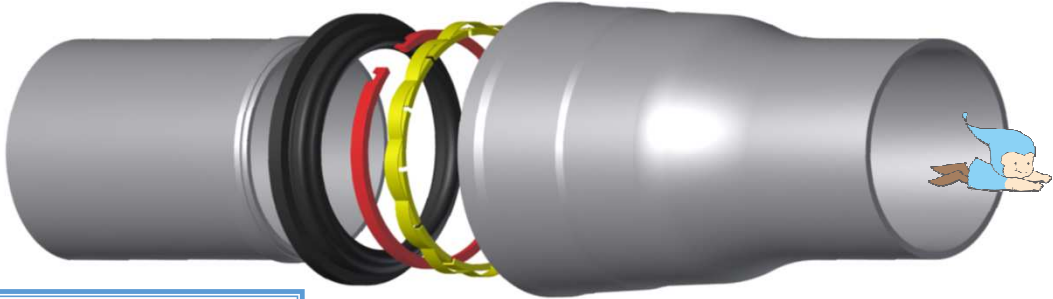


誕生から50年

耐震水道管へんせんの変遷



耐震水道管の特徴

- ぬけだしぼう し こうぞう
拔出防止構造
- しんしゆくせい
伸縮性
- くつきよくせい
屈曲性
- ちようじゆみようか
長寿命化
- せ こう せい
施工性

これらの特徴を持った耐震水道管は、1970年代に開発され、全国に普及していったんだよ。

耐震水道管は、地震大国日本の水道技術の結晶だね。



耐震継手の変遷 と主な地震

	1970年 (昭和45年)	1980年 (昭和55年)	1990年 (平成2年)	2000年 (平成12年)	2010年 (平成22年)	2020年 (令和2年)	
耐震継手	S/SII形 S形…呼び径500~2600 SII形…呼び径75~450	1979~	NS形 呼び径75~450	1995~	NS形 呼び径500~1000 GX形 呼び径75~400	2005~ 2010~	
主な地震	■ 十勝沖地震 (1968)	■ 宮城県沖地震 (1978) ■ 八丈島東方沖地震 (1972) ■ 根室半島沖地震 (1973) ■ 伊豆半島沖地震 (1974) ■ 伊豆大島近海の地震 (1978) ■ 浦河沖地震 (1982)	■ 日本海中部地震 (1983) ■ 長野県西部地震 (1984)	■ 釧路沖地震 (1993) ■ 北海道南西沖地震 (1993) ■ 北海道東方沖地震 (1994) ■ 三陸はるか沖地震 (1994) ■ 阪神・淡路大震災 (1995) ■ 鳥取県西部地震 (2000)	■ 芸予地震 (2001) ■ 十勝沖地震 (2003) ■ 新潟県中越地震 (2004) ■ 能登半島地震 (2007) ■ 新潟県中越沖地震 (2007) ■ 岩手・宮城内陸地震 (2008)	■ 東日本大震災 (2011) ■ 熊本地震 (2016) ■ 北海道胆振東部地震 (2018)	

- ・ 耐震管の有効性を実証
- ・ 当企業団で耐震管全面採用に